

白川 浩司さん（岡山県倉敷市出身）
2018年度2次隊 シニア海外協力隊
派遣国：ブータン 職種：観光
2019年12月15日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

板について伝統衣装ゴ

クズザンポーラ（こんにちは）。国際協力機構（JICA）のシニア海外ボランティアとしてヒマラヤのブータン王国に派遣されて1年が過ぎた。私は配属先の政府観光局で、日本人観光客を招致するためのプロモーションと新たな旅行商品の開発をしている。

九州地方ほどの面積に約75万人が暮らすブータンは急速に近代化が進む中であっても、自然環境や伝統文化が壊されないように保護する政策を取ってきた。例えば、森林面積を国土の60%以上に維持することを憲法で定め乱開発を防いでいる。また、学校や職場、寺院といった公の場では伝統衣装のゴ（男性用）やキラ（女性用）を着ることを義務付けている。



キャプション：
大阪での旅行博で、ゴやキラを着てブータンの魅力をアピール

ブータン人にとってゴとキラは伝統文化でありアイデンティティーでもある。世界中どこにいてもゴを着ていればブータン人だとすぐ分かる。私も職場ではゴを着ている。そのため、ほぼ毎日のようにブータン人と間違えられ、現地語で話しかけられる。ブータン人と日本人は顔つきが似ているので、ゴやキラを着るとほぼ見分けがつかない。

ゴは着付けがちょっと難しいので当初は同僚に直してもらっていた。今では鏡と洗濯ばさみがあれば1人で着られるようになった。ブータン観光をプロモーションするために10月、大阪に出向いて旅行博に出展した。この時、ホテルからゴを着て会場に向かった。日本でゴを着ていてもあまり違和感のない自分に驚いた。それだけ着慣れ、ブータン人に近づいたのかもしれない。